

# 「教育基本法の改悪を

## とめよう」

### 11・6 全国集会に参加して

内山雄平

十一月六日（土）、「教育基本法の改悪をとめよう」と東京日比谷野外音楽堂で全国集会が開かれた。秋晴れの下、五千五百人も集う集会成为り、ほとんど座席を埋め尽くし、通路にも溢れるほどであった。

呼びかけ人は小森陽一さん、高橋哲哉さん、三宅晶子さん、大内裕和さんである。

大学生、高校生、宗教者、弁護士、戦争体験者、保育士、主婦、上部団体の組織を超えた教職員の参加もあり、それぞれの立場からの発言があった。いずれもが、愛国心の強要で「戦争をする人づくり」に教育が利用され、国家による教育内容の介入に道を開くことになるなど、教基法「改正」のもつ危険性を訴える内容である。

「ここでは教育基本法「改正」の意図について、登壇すると〇〇ちゃんなどと声援が送られ、集会参加者の注目を浴びた呼びかけ人の発言を紹介したい。

〈東大教授の小森陽一さん〉教育基本法改正促進委員会が民主党の西村眞吾議員が「お国のために命を投げ出してもかまわない日本人をうみだす」と、改悪の本質をいい、決して学校現場の矛盾や今の教育の荒廃を変えるためでなく、子どもたちを戦争を担う人間にしたてあげるための改悪です。だから、日本の支配層にとっては、与党「中間報告」で削られた「平和的な社会の形成者」になつてはならず、子どもたちが「真理と正義を愛し」「個人の価値を尊んで」もらつては困るのです（二内は自民・公明両党が六月合意した改正案で基本法の前文から抜いた文言）。

〈松山大学助教授の大内裕和さん〉与党の「中間報告」では、教基法第二条「教育の機会均等」において、「すべての国民は、ひとしく、その能力に応ずる教育を受ける機会を与えられなければならない」から、「すべて」と「ひとしく」を削除し、「能力に応じた」という面のみが重視されています。さらに、「社会的身分、経済的地位、又は門地によって、教育上差別されない」という部分も削除さ

れている。これでは、教育機会均等の規定としては十分な役割を果たさないことになる。全国から運動の輪が着実に広がってきたことを感じる。さらにこの運動を広げよう。

〔千葉大学教授の三宅晶子さん〕「教育は、不当な支配に服することなく」と国家・行政権力の教育への介入に歯止めをかけている教育基本法の第十条を、与党の改憲案で教育行政に批判的な活動を排除する意味に変えている。〈東大教授の高橋哲哉さん〉「学問は精神に自由をもたらず余裕、ゆとりなしに成り立たない。学校は子どもや若者が自分の頭で考え、全身で世界を感じ、他者と交流する場であつて欲しい。「憲法の理想の実現は、根本において教育の力に待つべきものである」と明記した教育基本法の根本理念が変えられれば、憲法はその理想の手だてを失つてしまう。改憲阻止に力を尽くそう。

四人の報告の間に、共産党の石井郁子議員や小林みえ子議員、社民党首の福島議員から挨拶があつた。さらに民主党の議員からも激励の挨拶があつたのには驚いた。参加者から思わずオツという声があつた。彼が、「民主党の私がかつこにいるのは場違いとお思ひになるかもしれませんが、この教育基本法・憲法の改正に反対している党内の議員が十数人いる。自民党議員にもいるので広げてい

きたい」と述べて大きな拍手が送られた。

一時三〇分からは始まつた集会は、四時三〇分頃に終了した。その後、日比谷野外音楽堂から東京駅前を通り過ぎ三越デパート付近まで、約二時間かけたデモ・パレードに移つた。

途中、西銀座通りは、土曜日とあつて人通りも多く、ネオンの輝く中を街宣車とともに、「改憲」反対の呼びかけに対し、立ち止まつて応援する人の姿も見られた。

今回の集会とおして、東京の石原都政の「日の丸・君が代」問題で明らかのように、政府に対して国民の教育への諸権利を保障している教育基本法が、「改正」によつて逆転し、政府の行う悪い施策にも法的根拠を与え、国民には義務だけが負わされるという点が最大の問題だといふ思ひをますます強くした。

この「改憲」には、いのがた県民教育研究所として総力を上げて反対運動を推し進めるため、学者、弁護士、主婦、現役の教師らの個人（世話人）による共同を組織し、県民に対してアピールを発表するなど、大きく運動の輪を広げようと準備しつつある。

なお、集会終了後のデモ行進に唱和した都民への訴えを次頁に紹介します。

# デモ行進シユプレヒコール

— 11・6 全国集会 —

子どもの声を聞いてほしい  
親たちの声を聞いてほしい  
現場の声を聞いてほしい  
教育基本法、今こそ生かそう

大事な大事な子どもたち  
二度と戦場に送らない  
それが私たちの誓い  
だから、教育基本法改悪反対！

一人ひとりが生きるのは  
国家がさきにあるんじゃない  
個人の尊厳まず第一  
教育基本法改悪反対！

本当の平和と民主主義  
足りないところもあつたけど  
ここからみんなで作っていく  
教育基本法、今こそ生かそう

国際社会というのなら  
戦争始める社会じゃなくて  
子どもの権利条約守ろう  
教育基本法、今こそ生かそう

今が歴史の曲がり角  
大きな大きな曲がり角  
今こそみんなで声上げよう  
教育基本法改悪反対！



一日比谷野外音楽堂—集いに集う—

(うちやま ゆうへい・研究所所員)